

# 教育研究業績書

所属	職名	氏名	学位
こども教育学部	教授	矢野 潔子	博士(教育学)・修士(看護学)
<b>I 教育活動</b>			
教育実践上の主な業績	年月日	概要	
(1)教育内容・方法の工夫(授業評価等を含む) 自己学習促進のための工夫	平成24年4月～現在 に至る	担当科目において、学生の授業外における自己学習を促進するための取組みとして、授業前の事前学習課題・本時の振り返り・質疑等の3項目からなる学習シートを毎時間分作成している。	
マインドマップの導入	平成25年9月～平成 26年2月	活水女子大学健康生活学部子ども学科の保育士養成課程科目「子どもの保健Ⅱ」(1年次後期、2単位)の授業において、マインドマップを用いたノート作成を取り入れた。なお、学生を対象とした事後調査よりマインドマップは、学生の学習理解に繋がっていることが示唆された。	
インタラクティブ・ティーチングを用いた教育実践	平成27年9月～現在 に至る	平成27年6月から7月に開講されたThe Japan Mooc (gacco)インタラクティブ・ティーチングの講座を受講・修了し、講座で学んだ技法を取り入れながら授業を行っている。概ね、担当する科目の学生の授業満足度は高い。	
外部機関との連携	平成28年4月～令和3 年2月	静岡大学教育学部の保健・保健体育免許取得必須「学校救急法概論」(1年次後期、2単位)において、静岡市消防署との連携により演習プログラムを作成し、協同授業を行った。	
シミュレーション教育	平成29年4月～令和3 年2月	静岡大学教育学部の専門科目「学校救急法演習」(2年次前期、2単位)及び「学校看護学演習」(2年次後期、2単位)において、現状や事象のモデルを作成し、それらの状況を体験・経験させるためにシミュレータ、ロールプレイ等を用いた演習を行った。	
反転学習(反転授業)	平成31年4月～令和3 年2月	静岡大学教職大学院の分野科目「学校保健の現状と課題」において、反転学習・反転授業、e-Learningを取り入れている。本取組みは、学生の自己学習促進にも繋がっていた。	
授業内容のインターネット上での公開	令和2年4月～令和3 年3月	担当科目の授業の様子等をホームページ(静岡大学教育学部 学校看護学研究室ホームページ <a href="https://wvp.shizuoka.ac.jp/school-nursing/">https://wvp.shizuoka.ac.jp/school-nursing/</a> )で紹介した。選択科目を履修する際に、閲覧している学生もいた。	
(2)作成した教科書・教材・参考書			
教材「つながる つなげる実習ワークブック」	平成24年4月	活水女子大学健康生活学部子ども学科の養護養護教諭免許必須科目「臨床実習」(3年次後期、2単位)から「養護実習」(4年次前期、2単位)、「教職実践演習」(4年次後期、2単位)までの学びを繋げることを目的として、保育士養成課程・養護教諭養成課程で活用できる実習教材を作成した。本教材を用いることで実習での学びが深まり、特に技術に関する理解が向上した。	
教科書「心とからだを育む」子どもの保健Ⅱ(演習)保育出版社	平成25年3月	保育士等を指す学生を対象とした教科書である。保健指導を行なう際の基礎的知識となる、子どもの歯と歯みがきの方法について解説した。活水女子大学健康生活学部子ども学科の科目「子どもの保健Ⅱ」(1年次後期、2単位)の補助教材として活用した。	
教科書「養護教諭のための発達障害児の学校生活を支える教育・保健マニュアル」診断と治療社	平成27年1月	発達障害児の支援における養護教諭の役割、かわり方について、ケガ等の手当てやよくある症状への対応など、具体的な事例をあげ解説した。静岡大学教育学部科目「学校看護学」(2年次前期、2単位)の参考図書として使用した。	

教材(学習サイト)『あなたとわたしの「からだ いのち ところ」を守る』インターネット学習サイト	平成27年9月	佐賀大学情報基盤センターの協力を得て、学習サイト「からだ いのち ところを守る」( <a href="https://nodv.med.saga-u.ac.jp/relation/login/index.php">https://nodv.med.saga-u.ac.jp/relation/login/index.php</a> )を開設した。本サイトは、中学生を対象とした性暴力から身を守るための教材として活用された。
<b>(3)教育方法・教育実践に関する発表、講演等</b>		
静岡県放課後児童支援員認定資格研修	平成27年度～令和3年度	静岡県主催の放課後児童支援員認定資格研修会において、科目「子どもの発達理解」及び「子どもの生活面における対応」の講師として研修を担当した。
静岡県子育て支援員研修	平成28年度～令和3年度	子育て支援員研修(専門研修)の講師として、「小児保健Ⅰ」及び「小児保健Ⅱ」、「安全の確保とリスクマネジメント」、「子どもの生活面における対応等」の講師として、研修を担当した。
平成28年度 静岡県保育の質向上促進事業	平成28年11月～平成29年1月	静岡県が実施する「保育の質向上促進事業」の一つである、保育士対象のスキルアップセミナーにおいて講師を年8回務めた。
令和2年度 栃木県幼稚園連合会 0・1・2歳研修会	令和2年12月	栃木県幼稚園連合会主催の0・1・2歳研修会において、「保護者支援の再考～これからの保護者支援・子育て支援～」をテーマとして講師を務めた。
保育総合研究会 公開保育アンバサダー研修	令和3年8月	保育総合研究会主催、公開保育アンバサダー資格に関する研修講師として、「乳児保育」について講演を行った。
日本保育協会青森県支部キャリアアップ研修	令和3年10月	日本保育協会青森県支部キャリアアップ研修会において、「食物アレルギー対応」についてをテーマとして講師を務めた。
令和4年度新潟県保育士等キャリアアップ事業	令和4年6月	新潟県私立保育園・認定こども園連盟主催、保育士等キャリアアップ事業研修において、「保護者支援・子育て支援」について研修講師を務めた。
令和5年度新潟県保育士等キャリアアップ事業	令和5年6月	新潟県私立保育園・認定こども園連盟主催、保育士等キャリアアップ事業研修において、「乳児保育分野」の研修講師を務めた。
<b>(4)その他教育活動上特記すべき事項</b>		
<b>【報道等】</b>		
①新聞掲載「静岡新聞」	平成29年12月	静岡新聞の地域欄に、担当科目「学校救急法概論」で行った応急手当の授業内容について掲載された。
②テレビ放送「静岡第一テレビ」	平成30年1月	静岡消防署と合同で開催した、大学生を対象とした心肺蘇生講習会の様子が放送された。

## II 研究活動

著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月	発行所、発表雑誌(及び巻、号数)等の名称	編者・著者名(共著の場合のみ記入)	該当頁数
(著書)					
養護教諭、看護師、保健師のための学校看護－学校環境と身体的支援を中心に－	共著	平成24年2月	東山書房	〈著者50音順〉朝倉隆司、荒木田美香子、葛西敦子、鎌田尚子、鎌塚優子、河田史宝、佐藤伸子、鈴木裕子、関由起子、竹鼻ゆかり、津村直子、中込由美、中下富子、成川美和、西能代、中野静、平川俊功、廣原紀恵、本田優子、松枝睦美、三村由香里、矢野潔子、山田玲子	p.44-p.45、p.191-p.194、p.194-p.196

心とからだを育む子どもの保健Ⅱ(演習)	共著	平成25年3月	保育出版社	〈執筆章順〉高内正子、梶美保、上山和子、工藤恭子、堀純子、岡いくよ、鈴木美枝子、沼野みえ子、細井香、祖父江育子、船越利代子、鎌田佳奈美、岸本みさ子、澤田由美、玉江和義、古屋肇子、矢野潔子、鈴木陽子、大原美香、黒瀬久美子、向笠京子、片平啓子、村松十和、佐藤寿哲、角井都美子、梶原京子、郷木義子、西山里利、山脇眞弓、弓場紀子、横山正子、森本美佐、黒沼茉未、廣原紀恵	p.60-p.61
International Handbook of Adolescent Pregnancy	共著	平成26年1月	Springer (Springer New York Heidelberg Dordrecht London)	〈編著〉Andrew L. Cherry, Mary E. Dillon “Adolescent Health, Public Health Responses, and Sex Education Program in Japan”の著者:Miyuki Nagamatsu, Kiyoko Yano, Takeshi Sato	p.419-p.431
養護教諭のための発達障害児の学校生活を支える教育・保健マニュアル	共著	平成27年1月	診断と治療社	〈著者50音順〉磯崎雄介、伊藤由美、今川恵美子、岩坂英巳、大谷和夫、岡野陽一、岡本啓子、小野尚香、鎌塚優子、国重浩一、古角好美、古藤雄大、下村淳子、菅玲子、鈴木由佳理、拓植雅義、内藤孝子、永井利三郎、長谷川陽一、濱崎年久、古川恵美、古荘純一、堀内桂、三上眞美、元木千賀子、森瞳子、矢野潔子	p.30-p.36
養護教諭のための現代のニーズに対応した養護学概論ー理論と実践ー	共著	平成28年2月	東山書房	〈著者50音順〉朝倉隆司、荒木田美香子、池添志乃、大川尚子、梶岡多恵子、鎌塚優子、上村弘子、小林央美、齋藤千景、鹿野裕美、宍戸洲美、下村淳子、竹鼻ゆかり、中下富子、中村富美子、西岡かおり、林典子、平川俊功、古川恵美、三村由香里、三森寧子、宮本香代子、森昭子、矢野潔子	p.343-p.247
改訂 養護教諭、看護師、保健師のための学校看護	共著	平成29年1月	東山書房	〈編著〉岡田加奈子、遠藤伸子、池添志乃	p.48-p.49、p.204-p.208
養護教諭、看護師、保健師のための新版 学校看護学ー全ての子供の健康実現を目指してー	共著	令和4年1月	東山書房	〈編著〉遠藤伸子、池添志乃、籠谷恵	p.40-p.44、p.96-p.100
(論文)					
DMAT研修をモデルにした災害医療研修の教育効果	共著	平成23年2月	「プレホスピタル・ケア」第24巻1号	秋永和之、梅崎節子、永妃都美、川原一恵、柴山薫、大隈伸子、矢野潔子、新地浩一	p.56-p.60
子ども学科における養護教諭の養成についてー学生のグループインタビューからの考察ー	単著	平成23年3月	活水女子大学「活水論文集健康生活学部編」第54集		p.53-p.61

看護学教員の災害看護学における教育実践上の課題について	共著	平成23年4月	「プレホスピタル・ケア」第24巻2号	松永妃都美、梅崎節子、秋永和之、川原一恵、米満伸子、柴山薫、新地浩一、矢野潔子	p.64-p.69
医療観察法病棟で勤務する看護師のストレスに関する研究ー一般精神科病棟で勤務する看護師との比較ー	共著	平成23年11月	「保健の科学」第53巻11号	梅崎節子、新地浩一、矢野潔子	p.783-p.788
養護教諭の研修ニーズと大学の役割ーA大学子ども学科卒業生を主体にしてー	単著	平成24年3月	活水女子大学「活水論文集健康生活学部編」第55集		p.25-p.31
子ども学科における「看護臨床実習」の取組とその充実策	共著	平成25年3月	活水女子大学「活水論文集健康生活学部編」第56集	矢野潔子、村真寿美、南野祐子	p.39-p.48
養護教諭のストレス反応に関連する要因ー職業性ストレス簡易調査票を用いてー	単著	平成25年9月	日本養護教諭教育学会「日本養護教諭教育学会誌」第17巻1号		p.33-p.41
養護教諭養成の課題とその資質向上の方策ー中教審答申(2012年)を中心にー	単著	平成25年11月	福岡大学「福岡大学大学院論集」第45巻第2号		p.55-p.65
避妊行動及び避妊の意思決定に関する研究ー女子大学生及び既婚者の就労女性とパートナーの要因ー	共著	平成26年1月	日本母性衛生学会誌「母性衛生」第54巻4号	永松美雪、矢野潔子、原健一	p.519-p.529
「認定こども園」への養護教諭配置の意義	共著	平成26年3月	活水女子大学「活水論文集健康生活学部編」第57集	矢野潔子、城野梨絵、石木和子	p.33-p.49
中学生の熱中症既往歴と主体的要因の関連	共著	平成27年2月	静岡大学「静岡大学教育学部附属教育実践総合センター紀要」No.23	谷健二、三井由里、矢野潔子	p.19-p.23
持久走後の熱中症救急搬送事例からみた発生要因ー女子中学生を対象としてー	共著	平成27年3月	静岡大学「静岡大学教育学部研究報告(人分・社会・自然科学篇)」第65号	谷健二、三井由里、矢野潔子	p.221-p.232
「子どもの保健」におけるマインドマップの試み	単著	平成28年3月	静岡大学「静岡大学教育学部附属教育実践センター紀要」No.25		p.271-p.278
養護教諭養成大学における養護実習の現状と課題	共著	平成28年6月	日本学校保健学会誌「学校保健研究」第58巻2号	齋藤千景、竹鼻ゆかり、朝倉隆司、池添志乃、岡田加奈子、鎌塚優子、上村弘子、池田史宝、小林央美、齋藤理砂子、鹿野裕美、中下富子、西岡かおり、三森寧子、矢野潔子	p.75-p.83
認定こども園における養護教諭の役割	単著	平成28年9月	日本養護教育学会「日本養護教諭教育学会誌」第20巻1号		p.75-p.79
大学生の応急手当に関する学習状況および理解度についてー医療・福祉系の学生を対象としてー	単著	平成29年3月	静岡大学「静岡大学教育学部附属教育実践総合センター紀要」No.25		p.91-p.99
養護教諭養成大学における「養護概説」開講の現状	共著	平成29年4月	日本学校保健学会誌「学校保健研究」第59巻1号	三森寧子、竹鼻ゆかり、矢野潔子、西岡かおり、朝倉隆司、池添志乃、岡田加奈子、鎌塚優子、上村弘子、河田史宝、小林央美、齋藤千景、齋藤理砂子、鹿野裕美、中下富子	p.40-p.47

養護実習における学生の目標達成度、満足度に関連する要因	共著	平成30年10月	日本学校保健学会誌「学校保健研究」第60巻4号	齋藤千景、竹鼻ゆかり、朝倉隆司、池添志乃、岡田加奈子、鎌塚優子、上村弘子、河田史宝、小林央美、齊藤理砂子、鹿野裕美、竹下富子、西岡かおり、三森寧子、矢野潔子	p.233-p.241
がん専門医療関係者が語る「がん教育」に対する認識	共著	平成30年12月	香川環境福祉学会「地域環境保健福祉研究」第21巻1号	鈴江毅、片山はるみ、鎌塚優子、矢野潔子、谷健二	p.1-p.9
海外におけるがん教育の現状～養護教諭の役割について～	共著	平成30年12月	香川環境保健福祉学会「地域環境保健福祉研究」第21巻1号	鈴江毅、片山はるみ、鎌塚優子、矢野潔子、谷健二	p.15-p.22
子どもの吸入援助のための楽曲作成の試み	共著	平成31年3月	活水女子大学「活水論文集健康生活学部編」第62集	福地友子、矢野潔子、一ノ瀬弘味、富増邦夫	p.125-p.131
Web-based Education for Preventing Sexual Violence among Junior High School Students in Japan	共著	令和元年7月	日本学校保健学会誌「School Health」Vol.15	永松美雪、原健一、矢野潔子、大田和樹、高崎光浩	p.34-p.42
がん教育における養護教諭の役割に関する研究	共著	令和元年10月	東海学校保健会誌「東海学校保健研究」第43巻1号	鈴江毅、鎌塚優子、矢野潔子、谷健二	p.34-p.42
幼保連携型認定こども園における子育て支援の現状と課題	単著	令和元年12月	静岡大学「静岡大学教育学部研究報告(人分・社会・自然科学篇)」第70号		p.247-p.263
がんサバイバーが語る「がん教育」の実践に対する認識～養護教諭の役割を中心に～	共著	令和2年12月	日本学校保健会「学校保健研究」第62巻5号	鈴江毅、鎌塚優子、矢野潔子、谷健二	p.324-p.330
医療職の養成教育に携わる教員に求められるもの—理学療法士および作業療法士を対象として	共著	令和2年12月	静岡大学「静岡大学教育学部研究報告(人分・社会・自然科学篇)」第71号	矢野潔子、原賢治	p.264-p.275
幼保連携型認定こども園の養護教諭・看護師が担う子育て支援の現状	単著	令和3年9月	日本養護教諭教育学会「日本養護教諭教育学会誌」第25巻1号		p85-p.95
動画を用いたトリアージシミュレーション教育と学習効果の検証—学生の学びはどこまで深いのか—	共著	令和3年12月	静岡大学「静岡大学教育学部研究報告(人文・社会・自然科学篇)」第72巻	秋永和之、柴山薫、益田和利、高橋公一、梅崎節子、矢野潔子	p.160-p.168
国立大学における「乳児保育」開講の現状—保育士養成の動向を踏まえて—	単著	令和4年1月	尚綱子育て研究センター「児やらい」第18巻第2号		p.49-p.60
地域子育て支援の利用状況と保護者が求める支援	単著	令和5年3月	尚綱大学研究紀要、第55号		p.111-p.119
地域の特性を踏まえた子育て支援の取り組みと今後の課題	共著	令和5年3月	尚綱子育て研究センター「児やらい」第19巻	矢野潔子、那須信樹、土金新治、坂崎隆浩	p.57-p.63
<b>(その他:報告書)</b>					
研究成果報告書「国際緊急援助活動における効率的な医療記録の開発に関する研究」	共著	平成23年3月	平成22年度文部科学省科学研究費補助金「挑戦的萌芽研究」	吉水清、新地浩一、矢野潔子	全93頁
日本養護教諭養成大学協議会 2010年度事業報告書	共著	平成23年9月	日本養護教諭養成大学協議会	今野洋子、大原榮子、大嶺智子、岡田加奈子、村上弘子、古賀由紀子、櫻田淳、西岡かおり、林照子、矢野潔子	担当頁 p.25-p.43

日本養護教諭養成大学協議会 2011年度事業報告書	共著	平成24年9月	日本養護教諭養成大学協議会	岡田加奈子、今野洋子、大原榮子、上嶺智子、上村弘子、古賀由紀子、櫻田淳、西岡かおり、林照子、矢野潔子	担当頁 p.77-p.83
調査報告「静岡県の高校生の養護教諭志望に関する調査－養護教諭養成課程設置に関連して－」	共著	平成27年3月	静岡大学「静岡大学教育学部附属教育実践総合センター紀要」No.24	谷健二、矢野潔子、鎌塚優子、杉山康司、小林朋子、井出智博、石原剛志、大塚玲、梅沢収	p.207-p.209
研究成果報告書「親しい相手やインターネットを通じた相手からの性暴力予防と対応のICT活用教育開発」	共著	平成29年3月	平成26-28年度科学研究費助成事業 学術研究助成基金助成金 基盤研究(C)	永松美雪、矢野潔子、島崎梓、原健一、高橋光浩、大田和樹	全88頁

### III 学会等及び社会における主な活動

平成27年4月～令和3年3月	東海学校保健学会 評議員
令和2年度	日本健康相談活動学会第16回学術集会 大会運営員
令和5年度 所属学会	日本養護教諭教育学会、日本看護科学学会、日本思春期学会、日本小児保健協会、日本健康教育学会、日本保育学会、日本応用教育心理学会、日本小児在宅医療支援研究会